

平成31年度 キャリア科目一覧									
学部 研究科名	配当年次	開講 区分	科目名	授業 形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバ リング	レベル
●総合教養科目・キャリア科目									
キャリアセンター	全学年	第3 クォーター	職業と学び-キャリアデザインを考えるA	講義	木・5限	南 知恵子	社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義	U1BB100	初級
キャリアセンター	全学年	第4 クォーター	職業と学び-キャリアデザインを考えるB	講義	木・5限	南 知恵子	社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義	U1BB100	初級
国際人間科学部 理学部 工学部 農学部 国際連携推進機構 国際教育総合セン ター 大学教育推進機構 大学教育研究推進 室	1、2	集中	グローバルチャレンジ実習	学外実習	コースごとに 異なる	友松 史子 他	1・2年生の1つのクォーターや長期休暇を、「チャレンジターム」として設定し、その期間に学生が国際的なフィールドで学修活動を行うプログラム。	U1BB100	初級
国際教養教育院	3、4	前期 後期	海外インターンシップA	実習	集中講義	米谷 淳 他	年次学生対象に「自ら地球的課題を発見し、その解決にリーダーシップを発揮できる人材」(「課題発見・解決型グローバル人材」)を育成するため、1つのクォーターや長期休暇を利用し海外に一定期間滞在し、国際的なフィールドで学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア活動)に取り組む。	U1II500	上級
国際教養教育院	3、4	前期 後期	海外インターンシップB	実習	集中講義	米谷 淳 他	年次学生対象に「自ら地球的課題を発見し、その解決にリーダーシップを発揮できる人材」(「課題発見・解決型グローバル人材」)を育成するため、1つのクォーターや長期休暇を利用し海外に一定期間滞在し、国際的なフィールドで学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア活動)に取り組む。	U1II500	上級
●法学部・法学研究科									
法学部	4	前期	特別講義国際ジャーナリズム I	講義	木・4限	中村 他	読売新聞の特派員経験者から、リレー形式で世界各国・地域の情勢や国際関係を学ぶ講義となる。 現地での取材経験に基づいた政治、外交、安全保障、経済、社会文化などに関する分析や解説を聞き、受講生が自らテーマを設定して英字新聞等で継続的にフォローする。学習を通じて世界情勢を自分なりに分析、評価する力を養う	J1JJ311	上級
法学部	3~4	前期	国際ジャーナリズム I (高度教養科目)	講義	木・4限	中村 他	読売新聞の特派員経験者から、リレー形式で世界各国・地域の情勢や国際関係を学ぶ講義となる。 現地での取材経験に基づいた政治、外交、安全保障、経済、社会文化などに関する分析や解説を聞き、受講生が自らテーマを設定して英字新聞等で継続的にフォローする。学習を通じて世界情勢を自分なりに分析、評価する力を養う	J1JJ511	高度教養 科目

法学部	4	前期	特別講義英文メディア論 I	講義	木・3限	芦田	英字新聞の記事特有の構成、表現を学び、記事にかかれている内容を把握する方法を身につけます。自分で選択した記事の内容、補足説明を口頭発表し、記事に関連するリサーチペーパーを英文で書くことで、英文解釈力、要約力の向上を目指し、また、調査結果から自分の考えを英語で表現する作文力の向上を目指します。	J1JJ311	上級
●法学部・法学研究科									
法学部	3～4	前期	英文メディア論 I (高度教養科目)	講義	木・3限	芦田	英字新聞の記事特有の構成、表現を学び、記事にかかれている内容を把握する方法を身につけます。自分で選択した記事の内容、補足説明を口頭発表し、記事に関連するリサーチペーパーを英文で書くことで、英文解釈力、要約力の向上を目指し、また、調査結果から自分の考えを英語で表現する作文力の向上を目指します。	J1JJ511	高度教養科目
法学部 法学研究科	4	前期	特別講義地域ジャーナリズム・ワークショップ	講義	水・4限	松村	概要：講義は二回を一セットとする。まず、ゲストスピーカーの話聞いた上で、質疑を通じて、その内容を理解する事が一回目の講義の主たる内容である。ゲストスピーカーには、兵庫県・神戸市地域で活躍する各分野の専門家を招く。その講義から数日以内に、そのテーマに関する簡潔な「記事」の執筆を行うことが課題として課される。各セットの二回目の講義では、自らが書いた記事を題材としながら、どうすればその質を一層高めることができるのかを、神戸新聞社の編集委員・記者の方に指導していただく。その上で、優秀な「記事」については、実際に神戸新聞に署名入りで掲載する。	J1JJ311	上級
法学部 法学研究科	3～4	前期	地域ジャーナリズム・ワークショップ(高度教養科目)	講義	水・4限	松村	概要：講義は二回を一セットとする。まず、ゲストスピーカーの話聞いた上で、質疑を通じて、その内容を理解する事が一回目の講義の主たる内容である。ゲストスピーカーには、兵庫県・神戸市地域で活躍する各分野の専門家を招く。その講義から数日以内に、そのテーマに関する簡潔な「記事」の執筆を行うことが課題として課される。各セットの二回目の講義では、自らが書いた記事を題材としながら、どうすればその質を一層高めることができるのかを、神戸新聞社の編集委員・記者の方に指導していただく。その上で、優秀な「記事」については、実際に神戸新聞に署名入りで掲載する。	J1JJ511	高度教養科目
法学部	1～4	前期	特別講義「新聞記事から思考する」	講義	火・4限	三木 他	新聞記事を題材に討論し、多様な視点から論理的に思考する力を養う。あわせて、大学生として必要な、わかりやすい文章を書くスキルを身につけることを目標とする。この授業では、新聞記事(原則として朝日新聞)を題材にテーマを設定、解決策などについて、議論したり、論作文を書いたりします。討論などを通して自らの中に多様なperspective(視点、考え方)を持ち、思考力を高めるのが狙いです。取り上げるテーマは、社会で今、何が問題となっているのかを知るため、できるだけタイムリーなものにします。	J1JJ311	上級

法学部	2～4	第1 クォーター	特別講義法経総合概論	講義	金・1～2限	高橋 他	<p>【授業の概要】法学と経済学の教員がペア(ないしトリオ)になって、法学と経済学が協働して取り組むべき諸課題について、7つのテーマについて授業を行います。</p> <p>【授業計画】 扱われるテーマ・担当教員は以下の通りです(順番は変更される可能性があります)</p> <p>4月5日 インTRODクダクシヨ(高橋・柳川) 4月12日 知的財産法(前田・中村(健)) 4月19日 競争法(池田・水野) 4月26日 労働法(櫻庭・勇上) 5月10日 社会保障法(関根・小塩) 5月17日 契約法(田中・座主) 5月24日 環境法(角松・島村・竹内)</p>	J1JJ211	中級
●法学部・法学研究科									
法学部	3～4	第1 クォーター	法経総合概論(高度教養科目)	講義	金・1～2限	高橋 他	<p>【授業の概要】法学と経済学の教員がペア(ないしトリオ)になって、法学と経済学が協働して取り組むべき諸課題について、7つのテーマについて授業を行います。</p> <p>【授業計画】 扱われるテーマ・担当教員は以下の通りです(順番は変更される可能性があります)</p> <p>4月5日 インTRODクダクシヨ(高橋・柳川) 4月12日 知的財産法(前田・中村(健)) 4月19日 競争法(池田・水野) 4月26日 労働法(櫻庭・勇上) 5月10日 社会保障法(関根・小塩) 5月17日 契約法(田中・座主) 5月24日 環境法(角松・島村・竹内)</p>	J1JJ511	高度教養 科目
法学部	2	前期	特別講義法経連携基礎演習	講義	月・3限	高橋	<p>【授業概要】 法学と経済学の教員が共同で、法学および経済学の基本的な考え方および分析手法について概説します。あわせて、法令・判例の検索方法および研究論文の読み方の解説と、統計ソフトを用いたデータ分析の実習を行います。具体的には以下の各主題を扱うことを予定しています。</p> <p>【授業計画】 (1)オリエンテーション (2)「法」とは何か・法令の探し方 (3)経済学INTRODUCTION (4)判例の読み方・探し方 (5)-(6)計量経済学入門 (7)-(8)ルール・法を作ってみる (9)ルールの解釈 (10)-(12)データ分析をやってみよう (13)-(14)法学／経済学文献の探し方</p>	J1JJ211	中級

法学部	3~4	前期	特別講義問題解決実践研究	演習	水・2限	高橋	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学と経済学の両方に関連する複合的テーマについてグループ研究をします。 ・複数名を一つのグループとして、2-3週に一度、研究の状況を報告してもらいます。 ・研究テーマは、初回授業時に参加者の希望を聞いた上で決定します。 ・6月末をめどにグループごとの成果をレポートの形にして提出することを求め、7月の授業ではレポートをもとに発表及びディスカッションを行います。 ・グループ研究の成果を踏まえ、期末試験前に、後期に実施する修了研究のプロポーザルを提出してもらいます。 <p>【授業計画】</p> <p>(1)イントロダクション／テーマ選定・グループ分け (2)-(3)研究計画の策定 (4)-(11)各班ごとの分担報告 (12)-(14)レポートに基づくディスカッション (15)まとめ・修了研究へ向けて</p>	J1JJ311	上級
-----	-----	----	--------------	----	------	----	---	---------	----

●法学部・法学研究科

法学部	4	後期	特別講義国際ジャーナリズムⅡ	講義	木・4限	中村 他	<p>読売新聞の特派員経験者から、リレー形式で世界各国・地域の情勢や国際関係を学ぶ講義となる。</p> <p>現地での取材経験に基づいた政治、外交、安全保障、経済、社会文化などに関する分析や解説を聞き、受講生が自らテーマを設定して英字新聞等で継続的にフォローする。学習を通じて世界情勢を自分なりに分析、評価する力を養う</p>	J1JJ311	上級
法学部	3~4	後期	国際ジャーナリズムⅡ(高度教養科目)	講義	木・4限	中村 他	<p>読売新聞の特派員経験者から、リレー形式で世界各国・地域の情勢や国際関係を学ぶ講義となる。</p> <p>現地での取材経験に基づいた政治、外交、安全保障、経済、社会文化などに関する分析や解説を聞き、受講生が自らテーマを設定して英字新聞等で継続的にフォローする。学習を通じて世界情勢を自分なりに分析、評価する力を養う</p>	J1JJ511	高度教養科目
法学部	4	後期	特別講義英文メディア論Ⅱ	講義	木・3限	山崎	<p>読売新聞社の英字新聞The Japan Newsのご寄付による本授業では、第一に英字新聞の読み方を学び、そして第二に、政治、経済、文化、防災、環境、労働、観光、社会保障など様々な事象(日本を中心とする)を把握、分析し理解を深める。</p>	J1JJ311	上級
法学部	3~4	後期	英文メディア論Ⅱ(高度教養科目)	講義	木・3限	山崎	<p>読売新聞社の英字新聞The Japan Newsのご寄付による本授業では、第一に英字新聞の読み方を学び、そして第二に、政治、経済、文化、防災、環境、労働、観光、社会保障など様々な事象(日本を中心とする)を把握、分析し理解を深める。</p>	J1JJ511	高度教養科目

<p>法学部 法学研究科</p>	<p>4</p>	<p>後期</p>	<p>特別講義ジャーナリズムの最前線</p>	<p>講義</p>	<p>水・4限</p>	<p>三木 他</p>	<p>朝日新聞社の記者や編集委員、論説委員が、それぞれの専門分野についてのトピックを取り上げ、リレー方式で話す。</p> <p>【授業計画】(以下は2018年度の実績であり、2019年度は変更の可能性がある)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 萩一晶・地域報道部記者(元ラテンアメリカ特派員) ホセ・ムヒカ報道から考える 3) 林尚行・社会部次長 デジタル時代で広がる記者の仕事 4) 上田俊英・編集委員 核拡散をめぐる状況 5) 川村直子・映像報道部記者 映像報道—フット・ドキュメンタリーをつくる 6) 曾我豪・編集委員 平成政治史 7) 小村田義之・論説委員 トランプ政権と日本 8) 東野真和・編集委員 震災から学ぶ 9) 稲田信司・国際報道部長 国際報道の最前線 10) 勝田敏彦・科学医療部記者 フェイクニューが問うもの 11) 奥山俊宏・編集委員 調査報道 12) 武田耕太・科学医療部デスク 医療報道 13) 寺光太郎・経済部長 経済報道 14) 平野智津・編集センター記者 新聞のつくりかた 	<p>J1JJ311</p>	<p>上級</p>
----------------------	----------	-----------	------------------------	-----------	-------------	-------------	--	----------------	-----------

●法学部・法学研究科

法学部	2～4	後期	ジャーナリズムの最前線(高度教養科目)	講義	水・4限	三木 他	<p>朝日新聞社の記者や編集委員、論説委員が、それぞれの専門分野についてのトピックを取り上げ、リレー方式で話す。</p> <p>【授業計画】(以下は2018年度の実績であり、2019年度は変更の可能性がある)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 萩一晶・地域報道部記者(元ラテンアメリカ特派員) ホセ・ムヒカ報道から考える 3) 林尚行・社会部次長 デジタル時代で広がる記者の仕事 4) 上田俊英・編集委員 核拡散をめぐる状況 5) 川村直子・映像報道部記者 映像報道—フット・ドキュメンタリーをつくる 6) 曾我豪・編集委員 平成政治史 7) 小村田義之・論説委員 トランプ政権と日本 8) 東野真和・編集委員 震災から学ぶ 9) 稲田信司・国際報道部長 国際報道の最前線 10) 勝田敏彦・科学医療部記者 フェイクニューが問うもの 11) 奥山俊宏・編集委員 調査報道 12) 武田耕太・科学医療部デスク 医療報道 13) 寺光太郎・経済部長 経済報道 14) 平野智津・編集センター記者 新聞のつくりかた 	J1JJ511	高度教養科目
法学部	2～4	後期	特別講義法経連携演習	講義	木・4限	古谷	<p>法律学及び経済学の論文(「法と経済学」の論文も含む)の中から、学術論文の「型」を把握したり論理展開に慣れる意味で重要な論文をいくつか選び、輪読します。外国語文献を対象とする場合もあります。</p> <p>各論文の担当者には、レジメを作成して報告してもらいます。また、12月末をめぐり、2000-3000字のレポートを提出してもらいます。各自が、報告で担当した論文に加えて、関連論文を読み、2つの論文を対比しながら自説を展開するという内容がレポートの基本形となります。冬休み明けには、レポートをもとにして各自に報告してもらいます。</p>	J1JJ311	上級
法学部	1～4	第3 クォーター	特別講義企業内法務入門	講義	金・3限	行澤 他	<p>【授業の概要】 実際に企業内法務の一線で活躍する担当講師がオムニバス形式で講義(ケース・スタディ)を行う。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第一回: ケーススタディ 1 第二回: ケーススタディ 2 第三回: ケーススタディ 3 第四回: ケーススタディ 4 第五回: ケーススタディ 5 第六回: ケーススタディ 6 第七回: まとめと復習 	J1JJ311	上級

●法学部・法学研究科									
法学部	2～3	第3 クォーター	企業内法務入門(高度教養科目)	講義	金・3限	行澤 他	<p>【授業の概要】 実際に企業内法務の一线で活躍する担当講師がオムニバス形式で講義(ケース・スタディ)を行う。</p> <p>【授業計画】 第一回:ケーススタディ 1 第二回:ケーススタディ 2 第三回:ケーススタディ 3 第四回:ケーススタディ 4 第五回:ケーススタディ 5 第六回:ケーススタディ 6 第七回:まとめと復習</p>	J1JJ511	高度教養 科目
法学部	1～4	第4 クォーター	特別講義弁護士によるプロボノ活動	講義	金・3限	行澤 他	<p>【授業の概要と計画】次のような様々なプロボノ活動において、実際に第一線で活躍する講師がオムニバス形式で講義(ケース・スタディ)を行う。</p> <p>① 総論 ② 災害復興支援 ③ 民事介入暴力(反社会的勢力への対応を含む) ④ 消費者保護 ⑤ 犯罪被害者支援 ⑥ 刑事弁護 ⑦ 公害対策・環境保全</p>	J1JJ311	上級
法学部	1～4	第4 クォーター	弁護士によるプロボノ活動(高度教養科目)	講義	金・3限	行澤 他	<p>【授業の概要と計画】次のような様々なプロボノ活動において、実際に第一線で活躍する講師がオムニバス形式で講義(ケース・スタディ)を行う。</p> <p>① 総論 ② 災害復興支援 ③ 民事介入暴力(反社会的勢力への対応を含む) ④ 消費者保護 ⑤ 犯罪被害者支援 ⑥ 刑事弁護 ⑦ 公害対策・環境保全</p>	J1JJ511	高度教養 科目
●経済学部・経済学研究科									
経済学部	2、3、4	前期	アセットマネジメントの理論と実務	講義	火・4限	日本投資顧問業協会 他	<p>資産運用の機能や社会的役割を踏まえつつ、「リスク」の概念、資産運用における予測や投資の手法、市場や制度のしくみ等々、資産運用の理論と現場(実際)を学ぶ。アセットマネジメント・ビジネスの実務家・研究者(ゲストスピーカー)の協力を仰ぎつつ、資産運用の世界を概観します(日本投資顧問業協会他によるオムニバス講義です)。</p>	E1EX301	上級

●経済学部・経済学研究科

経済学部	2、3、4	第1 クォーター	金融・財政および関西経済の現状	講義	水・4限	近畿財務局	わが国の財政状況や金融行政変遷、関西経済の現状などについて、近畿財務局の幹部のほか、財務省・金融庁・日本銀行・大阪国税局・大阪労働局の職員が、順次入れ替わり各テーマについて講義します。(近畿財務局の寄付講義)	E1EX301	上級
経済学部	全学年	第2 クォーター	アカウンティング講座・経営戦略シミュレーション	講義	水・2限	TAC	決算書を読み解くための会計の基礎知識や戦略的コストマネジメントに関する基礎知識を学ぶ。さらには、学んだ基礎知識を発展させて、実際の企業がどのようなプロセスで戦略を展開しているかについても考察を行うことで、広くビジネスパーソンとしての素養を身に着ける。	E1EX301	中級
経済学部	2、3、4	第2 クォーター	総合商社のグローバル戦略	講義	金・4限	丸紅経済研究所	独特なビジネスモデルを有する総合商社の活動の紹介・解説。	E1EX301	上級
経済学部	全学年	後期	ビジネス会計入門：キャリア入門講義	講義	水・2限	大原学園	将来、企業人になる前に知っておかねばならない会計分野について講義する。 企業の経済活動、財務諸表の見方・分析の基礎知識に立脚し、将来社会人として生活を営んでいく上で必要なこと、自分の才能を社会に役立てる上で大学時代にやるべきこと・考えるべきことのヒントを与えらるとともに、自己責任において判断し意思決定できる能力を身につけ、充実させることを目標としている(オムニパス講義です)。	E1EX301	中級
経済学部	3、4	後期	銀行ビジネスワークショップ	講義	水・3限	三井住友銀行	三井住友銀行グループによるワークショップ型の講義です。	E1EX301	上級
経済学部	2、3、4	後期	現代商品市場論	講義	火・4限	東京商品取引所 大阪堂島商品取引所	規制緩和や経済のグローバル化が進展するなかで、近年のコモディティの価格の動きは、ビジネスパーソンのみならず個人にとっても無縁ではいられないものとなっている。本講義では、商品市場や制度の仕組み、リスク・リターン等の概念等、資産運用・リスク管理の理論と実際を学習する。市場の実際を考察するために、外国為替市場のインターバンクのシミュレーション・ゲーム(模擬取引)も行う。	E1EX301	上級
経済学部	3、4	第3 クォーター	グローバル環境における総合会社(ビジネス体験型ワークショップ)	講義	火・3、4限	双日	総合会社「双日株式会社」による少人数、ビジネス体験型ワークショップとディスカッション主体の授業 ・「双日株式会社」という企業を通じて、「総合会社」を理解する。 ・あらゆる国や地域、産業に接点のある総合会社の活動から、その先の「世界」を知る。 ・「企業」「働くこと」の意味を知る。	E1EX301	上級
経済学部	2、3、4	第3 クォーター	関税政策と税関行政	講義	水・2限	神戸税関	貿易の健全な発展と安全な社会の実現に向けた我が国の関税政策・税関行政の取組み及び神戸港の現状について講義を行うとともに、EPA(経済連携協定)などの外部環境の変化に応じた行政の対応手法例を学びます。	E1EX301	上級

経済学部	3、4	第3 クォーター	FinTech×デザインシンキング	講義	金・3限	住信SBIネット銀行	住信SBIネット銀行によるワークショップを中心としたビジネス企画体験型講義。 FinTechの実像を理解した上で、それらテクノロジーを活用した新規事業検討を、デザインシンキングのフレームワークをベースに行う。	E1EX301	高度 教養科目
●経済学部・経済学研究科									
経済学部	2、3、4	第4 クォーター	キャリア形成と労働法制度	講義	水・3限	兵庫労働局	働くときに必要な労働法制の基礎知識を学び、労働関係法令を知らないことによるトラブルの発生を未然に防止する。企業社会の現状や、それに対応した労働行政の取組みを紹介することにより、就職の際の企業選択やその後のキャリア形成を支援する。	E1EX301	上級
●経営学部・経営学研究科									
経営学部	3、4	第4 クォーター	消費者指向のマーケティング	講義	水・4限	コクヨ	受講者が到達することが期待される目標は次の2点である。(1)コクヨがいかに消費者視点に立脚した製品開発、ひいては経営を行っているかをケースを通じて理解すること、それにより(2)消費者経営についての関心と理解を深めること。	B1BB303	上級
●理学部・理学研究科									
理学部、理学研究科	4、院生	前期	特別講義 保険数理	講義	火・2限	松本 浩司	保険会社職員による保険・年金事業に用いられる保険数学の概念(仕組み等)についての授業		専門
理学部、理学研究科	4、院生	第1 クォーター	特別講義 Industrial Chemistry: 産業を支える化学	講義	金・4限	大西 洋 他	日本化学工業協会の化学人材育成プログラム参加企業が派遣する講師が詳述する。		専門
理学部	1	前期	特別講義 生物学のすすめⅠ	講義	集中講義	未定	外部講師(主に大学教員以外)および生物学科教員による卒業後のキャリア構築の実際についての講話		専門
理学部	2	前期	特別講義 生物学のすすめⅢ	講義	集中講義	未定	外部講師(主に大学教員以外)および生物学科教員による卒業後のキャリア構築の実際についての講話		専門
●医学部保健学科・保健学研究科									
医学部保健学科	4	後期	IPW統合演習	演習	集中講義	千葉 理恵	保健学科、医学科、神戸薬科大学学生とともに、それぞれが専門性を発揮し、専門職としての役割を果たしながら、チームの一員としての協働を実践的に学ぶ。保健学科必修科目。	M1NS511	高度 教養科目
●工学部・工学研究科									
工学部	1年次後期～ 4年次前期	前期 後期	学外演習(建築学科)	実習	随時	近藤 民代 他	学生提案型単位取得科目。プロジェクト企画書、プロジェクト実施レポート提出が必須。	T1AA413	最上級

工学研究科	1	通年	構造系インターンシップ I (建築学専攻)	実習	主に夏季休業中	学外・構造系教員 (多賀 謙蔵)	建築事務所に出向き、実際の建築設計活動がどのように大学院で学ぶ学問領域と対応し、それぞれの理論がいかに応用されているかを習得する。インターンシップに関する実習内容の研修記録提出が必須。		発展
●工学部・工学研究科									
工学研究科	1、2	通年	計画系インターンシップA1(建築学専攻)	実習	主に夏季休業中	学外・計画系教員 (中江 研)	建築事務所に出向き、実際の建築設計活動がどのように大学院で学ぶ学問領域と対応し、それぞれの理論がいかに応用されているかを習得する。インターンシップに関する実習内容の研修記録提出が必須。		発展
工学研究科	1、2	通年	計画系インターンシップA2(建築学専攻)	実習	主に夏季休業中	学外・計画系教員 (中江 研)	建築事務所に出向き、実際の建築設計活動がどのように大学院で学ぶ学問領域と対応し、それぞれの理論がいかに応用されているかを習得する。インターンシップに関する実習内容の研修記録提出が必須。		発展
工学研究科	1、2	通年	計画系インターンシップB1(建築学専攻)	実習	随時	計画系教員	非常勤講師と学内専任教員によるインハウスのインターンシップ		発展
工学研究科	1、2	通年	計画系インターンシップB2(建築学専攻)	実習	随時	計画系教員	非常勤講師と学内専任教員によるインハウスのインターンシップ		発展
工学研究科	1、2	通年	計画系インターンシップC(建築学専攻)	実習	随時	学外・計画系教員 (中江 研)	建築事務所に出向き、実際の建築設計活動がどのように大学院で学ぶ学問領域と対応し、それぞれの理論がいかに応用されているかを習得する。インターンシップに関する実習内容の研修記録提出が必須。		発展
工学部	3	後期	学外実習(市民工学科)	実習	夏季休業期間中等	芥川 真一	土木工学の実際を学ぶ。学外諸機関(企業、官庁他)における実際業務を体験し、土木技術の役割・使命について学ぶのと同時に、将来のあり方について考える。	T1CE314	上級
工学部	2	第2 クォーター	クリエイティブゼミナール(電気電子工学科)	実習	主に夏季休業中	小島 磨 他	自ら研修内容を計画的に設定し、技術者として必要な課題探索や問題解決のための創造性を養う。また、研修した内容について聴衆の前で発表することによりプレゼンテーション能力を高める。	T1EE232	中級
工学研究科	1	第2 クォーター	特別講義II (企業における研究・開発プロセスの実際) (電気電子工学専攻)	講義	金・3、4限	JEITA関西支部	わが国を代表するエレクトロニクス・メーカーの各開発担当者から、それぞれの企業における研究開発の実際について講義する。具体的な製品の開発プロセスを例示することで、産業界における研究開発の取り組み方を理解させると共に、エレクトロニクス産業に対する興味・関心を喚起する。	T2EE652	基礎
工学研究科	1、2	前期 後期	インターンシップ(機械工学専攻)	実習	主に夏季休業中	機械工学専攻教員	単位認定には受入先の修了証(様式自由)と報告書の提出が必要	T2MM740	発展

工学部	1	前期	ファンダメンタルコースワーク1 ファンダメンタルコースワーク2 ファンダメンタルコースワーク3 ファンダメンタルコースワーク4 (応用化学科)	演習	火・3限(コースワーク1) 金・2、3、4、5限 (コースワーク2・3) 木・4限(コースワーク4)	応用化学科教員	大学における学修の意義を知るとともに、プレゼンテーション・工場見学による理解の実践・外国語講読・研究におけるブレイク・スルー・先端研究に対する展望と創造力の陶冶など、応用化学を学ぶ上で必要な素養を理解し、自らのキャリアに対してこれから学ぶ専門科目の重要性を理解する。	T1CX102 T1CX103 T1CX104 T1CX105	初級
●工学部・工学研究科									
工学部	4	前期	特別講義A(応用化学科)	講義	前期	応用化学科教員	大学や大学院で応用化学を学ぶ目的の1つは、物質や材料に関わる化学分野の学修を通して、様々な産業界における生産活動の中で「モノがわかる」人材として社会で活躍できる人物になる素養を身につけることである。本講義は応用化学科の前身である、旧工業化学科・化学工学科の卒業生を中心に様々な分野・立場で活躍する「モノのわかる人」を非常勤講師に招き、講演会公式で講義を行う。諸先輩の経験やモノの考え方をロールモデルとし、自らの将来に思いを巡らし、「応用化学」を学ぶ意義を再確認することを目的とする。	T1CX480	最上級
工学研究科	1(修士)	前期	特別講義A(応用化学専攻)	講義	前期	応用化学科教員	大学や大学院で応用化学を学ぶ目的の1つは、物質や材料に関わる化学分野の学修を通して、様々な産業界における生産活動の中で「モノがわかる」人材として社会で活躍できる人物になる素養を身につけることである。本講義は応用化学科の前身である、旧工業化学科・化学工学科の卒業生を中心に様々な分野・立場で活躍する「モノのわかる人」を非常勤講師に招き、講演会公式で講義を行う。諸先輩の経験やモノの考え方をロールモデルとし、自らの将来に思いを巡らし、「応用化学」を学ぶ意義を再確認することを目的とする。	T2CX790	最上級
●農学部・農学研究科									
農学部	3、4	第2 クォーター	地域環境工学現地実習	実習	夏期集中	井上 一哉	夏季休業中(8~9月)の約2~3週間、農林水産省、公団、都道府県等の農業農村整備事業を実施している事業所あるいは農村工学研究所等に行き、現地で測量や内業等の各種業務を体験する。	A1AA300	上級
●海事科学部・海事科学研究科									
海事科学部	2	前期	最新船用機器・技術概論	講義	火・4限	段 智久 阿部 晃久 三輪 誠 内田 誠 元井 直樹	船用工業に関連する企業の実務に基づき、開発、設計、製造など具体的な業務内容や船用機器に関する最新技術の概要について、業界の第一線で活躍されている企業担当者が講師となって講義を行う。また、講義の一環として、船用機器関連会社がブース形式で製品や業界の動向などの説明を行う「船用工業説明会」を開催する。	W1WW120	初級
海事科学部	2	後期	海運企業のトップマネジメントへの途	演習	木・4限	廣野 康平	「海事関連産業の“今”と自分自身への“課題”」をグランドテーマとし、海事関連産業を対象とした調査の企画と実施、報告という活動を通じた活動。活動への寄与、責任の軽重、設定した目標の達成具合等を基準とし、学生相互の評価も考慮する。	W1WW120	初級

海事科学部	3	前期	海事産業社会事情	講義	木・3限	世良 亘 藤本 昌志 淵 真輝 三輪 誠	この講義では、海運を中心とする海事産業界の実務に関する情報、現状の海事産業界が学生に何を求めているか、海事産業界の将来動向等について、各界から著名な実務者を招き生きた情報を提供する。	W1WW130	初級
●国際協力研究科									
国際協力研究科	博士課程前期課程 博士課程後期課程	前期 後期	インターンシップ	学外実習	随時	国際協力研究科教員	学生の教育研究やキャリアパス開拓に資する就労、実務経験として、インターン受入機関・企業等の指導と監督の下、一定期間学生が研修を行うもの。インターンシップ報告書及び評定書に基づき成績評価を行う。	I2GJ702 I3GJ802	発展